

西暦 2023 年 8 月 16 日

当院で健診を受けられた方およびご家族様へ

臨床研究へのご協力をお願い

J A 高知病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、また、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら下記の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

「研究課題名」 当院健診者における自己免疫性胃炎診断の現状

「研究責任者」 健診科 岩村伸一

「研究の背景」

自己免疫性胃炎は内視鏡検査で萎縮性胃炎と診断されますが、進行すれば悪性貧血、胃癌などを合併する疾患です。自己免疫性胃炎は胃酸を分泌する胃壁細胞に対する抗体が原因とされ、日本の一般人口における頻度は 0.49～0.89%と報告されています。2022 年、日本消化器内視鏡学会から初めて診断基準が示されましたが施設間の差が大きく、特に悪性貧血発症前の症例も含めると相当数が正しく診断されていない可能性があります。近年はヘリコバクター・ピロリ除菌者が増え、今後、自己免疫性胃炎は胃癌の背景疾患として重要です。また橋本病など、他の自己免疫性疾患を合併することもあります。

「研究の目的」

萎縮性胃炎の原因を正しく診断し、 unnecessary 除菌治療を避け、胃がん検診の意義を理解していただくことを目指します。また無症状の甲状腺疾患発見の契機、貧血の鑑別診断にも役立つことを期待します。

「研究の方法」

患者さんのカルテ情報を後方視的に解析します。病歴、臨床所見、血液検査(貧

血の有無、抗胃壁細胞抗体結果)に加え、特徴的な内視鏡所見(胃体部優位の萎縮性胃炎、残存胃底腺粘膜、固着粘液など)につき検討します。

「研究の対象」

当院で上部消化管内視鏡検査を受け、自己免疫性胃炎が疑われた健診者のうち、抗胃壁細胞抗体を測定しえた方

「研究組織」

この研究は、当院のみで実施されます。

「個人情報の扱い」

情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、名前、住所など、個人を直接判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直接判別できるような情報は利用しません。情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

「問い合わせ先」

高知県厚生農業協同組合連合会 J A 高知病院

担当者： 健診科 岩村伸一

電話番号： 088-863-2181 (平日 8:30~17:00)